

ワシントン、ニューヨーク訪問記 (海外調査番外編)

弁護士 志部 淳之介



1 ワシントン、ニューヨーク訪問

少し前の話になりますが、平成28年3月5日～13日にかけて、アメリカ合衆国（ワシントン、ニューヨーク）を訪問し（近畿弁護士会連合会、京都弁護士会、大阪弁護士会、兵庫県弁護士会の消費者保護委員会共同調査）、米国クラスアクションの実情調査を実施しました。その際の調査結果は、報告書に譲るとして、今回は、その道中について番外編という形でお話したいと思います。

2 ワシントン

ワシントンでは調査の合間の自由時間を確保することができたため、滞在先ホテル近くの観光名所を見学しました。ホテルから少し歩くとアメリカ合衆国議会議事堂がありました。残念ながら改修中だったのですが、荘厳な建物です。オバマ元大統領、トランプ大統領が就任演説を行ったのは、この建物の前ですね。



アメリカ合衆国議会議事堂

このほか、スミソニアン博物館やオベリスク、ホワイトハウス等、徒歩で散歩できる距離に名所がそろっており、短時間ながら非常に興味深く見学することができました。スミソニアンの美術館、博物館群は、日本と異なり、なんと入館料、見学料が無料です。その展示物は膨大で、全部を見るには数日間～数週間を要するのではないのでしょうか。

3 ニューヨーク

ニューヨークでは、移動日の到着後数時間、自由時間を設けることができました。滞在先は、ブロードウェイのタイムズスクエア近くのホテルでしたので、あらかじめ目をつけていた近所の名所（セントラルパーク）に地下鉄で訪れることにしました。セントラルパークに着いたのは、日が暮れかけた頃、公園内にあるメトロポリタン美術館に着いたのは閉館15分前でした。入館



日没前のセントラルパーク

後、目をつけていた印象派の絵画数点をかろうじて鑑賞し、あっという間に退館となりました。

帰り道、タイムズスクエアの前を通ったのですが、まばゆいまでの広告の嵐、真昼と見まがわんばかりの明るさでした。人々は何故か明るく踊ったり歌ったりお祭りのような雰囲気でした。



タイムズスクエア

4 食べ物事情

ワシントンでは、夜は中華街やホテル近くのレストランでの食事をしました。他方、お昼は、調査の合間に短時間の昼休憩をとるのが精一杯で、カフェや公園の屋台等で食事を済ませることが多かったです。驚いたのは、公園で買った弁当のボリュームでした。ハンバーガーのセットを購入すると、何も言わなくても日本でいうところのXLサイズ。やっとのことで巨大なハンバーガーを食べると、その2倍の量のポテトが待っています。調査の間に少しだけ胃が膨らんだ気がします。

滞在期間が経過するにつれ、やはり日本食が恋しくなります。前回のギリシャ・フランス調査でも途中で我慢できなくなり日本食に走りましたが、今回もそうでした。ニューヨークで入った日本食レストランでは、寿司、天ぷら、そば等をいただきました。美味しかったです。片言の日本語で「まいど」と挨拶されるのですが、おそらくスタッフは中国の方でしょう。

5 雑感

海外調査の醍醐味は、普段の旅行では行けない省庁や公官庁、法律事務所等を訪問、調査できることかと思えます。他方で、せっかくの海外ですから時間を無駄にせず、その土地の風土の調査も怠りたくないところです。今回は、念願だったスミソニアン博物館やメトロポリタン美術館に行けて本当に良かったと思います。アメリカという国のスケールの大きさを感ずることができました。しかし、メトロポリタン美術館の滞在時間が15分とは…、次回、もう一度行きたいですね。